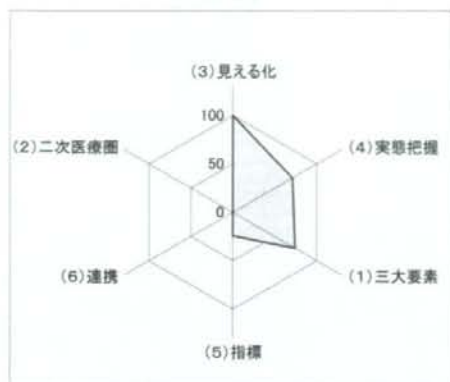
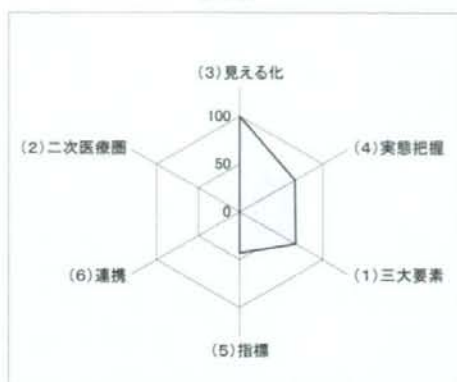


脳卒中

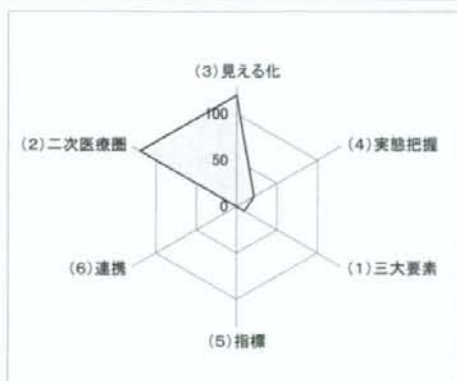
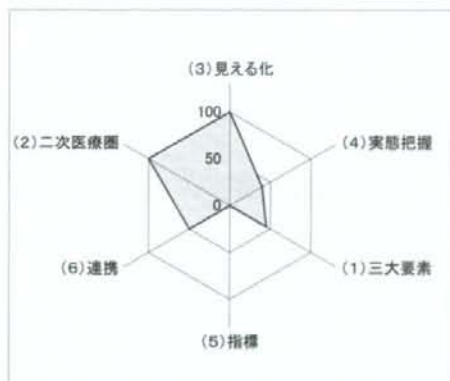
佐賀県



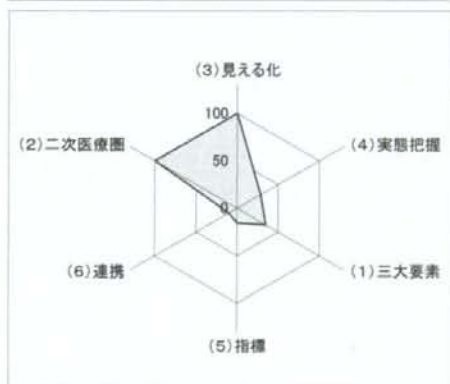
糖尿病



長崎県

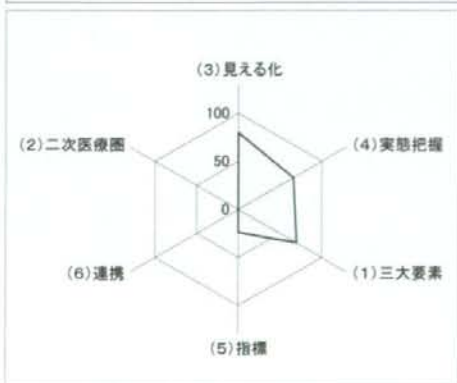
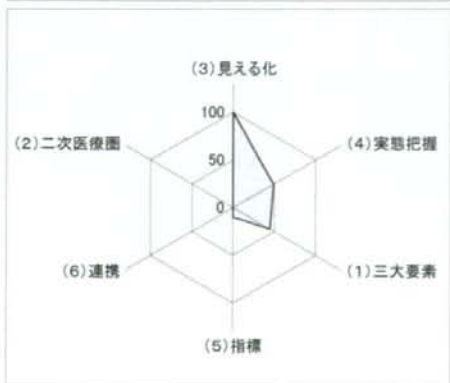


熊本県



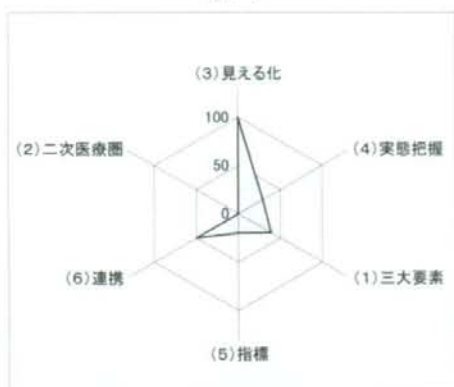
糖尿病の機能別医療機関リストを現在策定中もしくは検討中のため、今回は評価対象に含めていない。

大分県

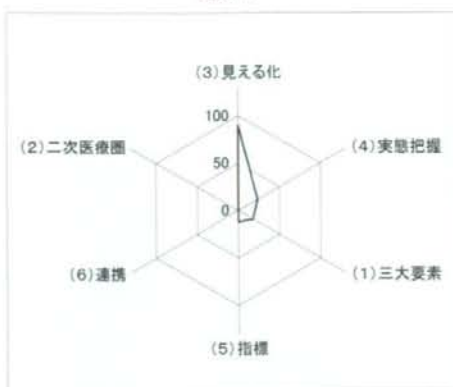


宮崎県

脳卒中

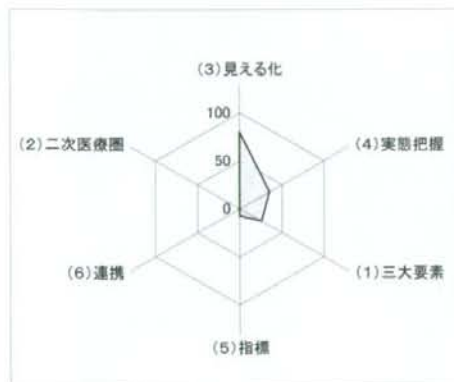


糖尿病



鹿児島県

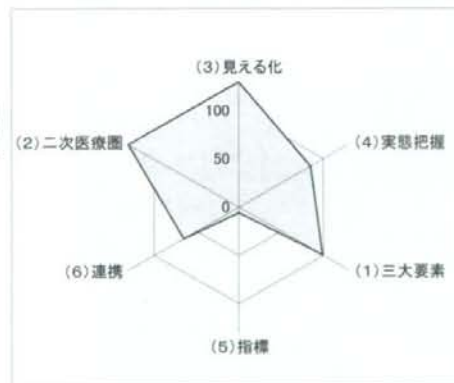
脳卒中



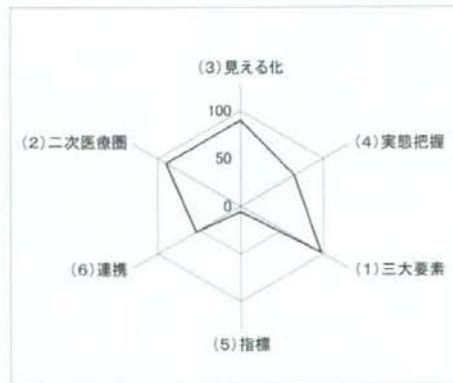
糖尿病の機能別医療機関リストを現在策定中もしくは検討中のため、今回は評価対象に含めていない。

沖縄県

脳卒中



糖尿病



別添資料-2

アンケート調査結果概要

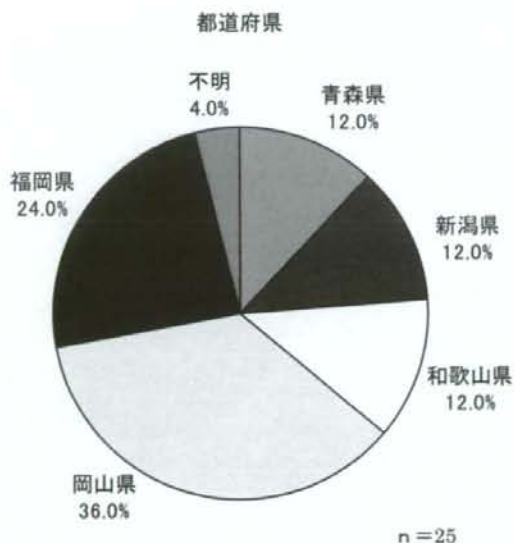
糖尿病診療について：専門医 病院

糖尿病診療について：専門医のいない診療所

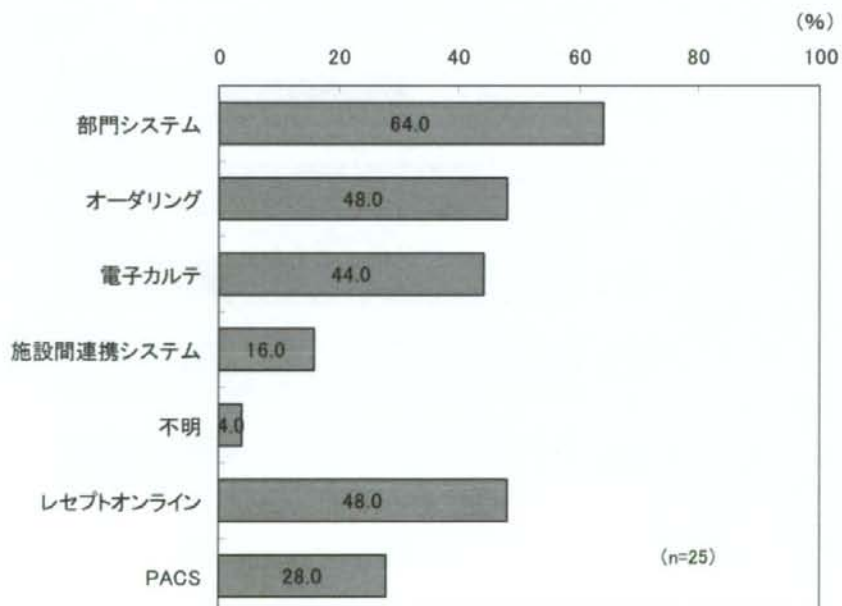
アンケート調査結果概要 (糖尿病診療について : 専門医 病院)

医療機関属性

(1) 都道府県



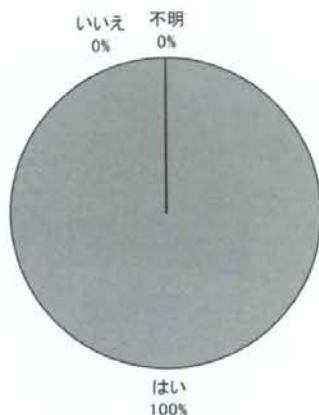
(2) 導入電子システム



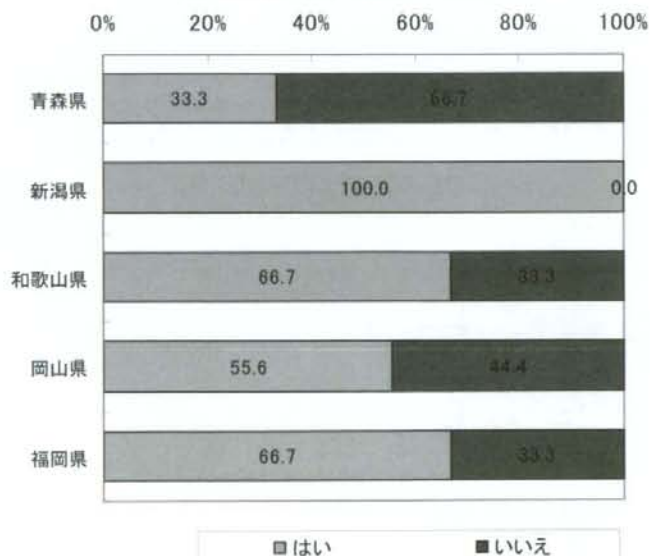
Q1-1 糖尿病専門外来の開設有無

糖尿病専門外来を開設していますか。

Q1-1 糖尿病専門外来の開設有無



Q1 糖尿病診療に関する勉強会の開催有無



### Q1-2 糖尿病診療を担当する専門医師数

糖尿病診療を担当される専門医は、それぞれ何名いらっしゃいますか。該当者無しの場合は、0名として下さい。

#### Q1-2\_1-1 糖尿病専門医:常勤(人)

平均	1.65
----	------

#### Q1-2\_1-2 糖尿病専門医:非常勤(人)

平均	0.63
----	------

#### Q1-2\_2-1 内分泌代謝科専門医:常勤(人)

平均	0.67
----	------

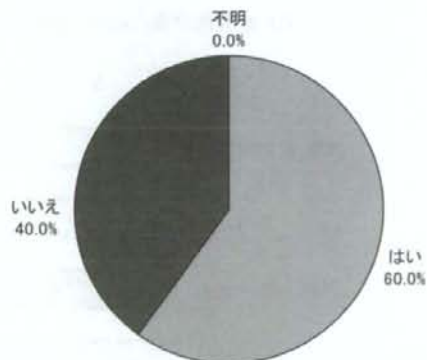
#### Q1-2\_2-2 内分泌代謝科専門医:非常勤(人)

平均	0.22
----	------

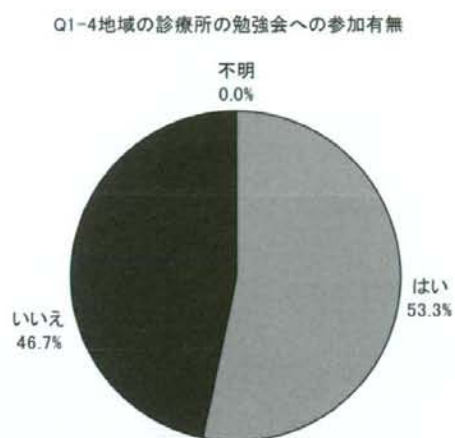
### Q1-3 地域における糖尿病診療に関する勉強会・講習会の開催有無

糖尿病診療に関する勉強会あるいは講習会を開催していますか。

Q1-3地域での糖尿病診療における勉強会の開催有無

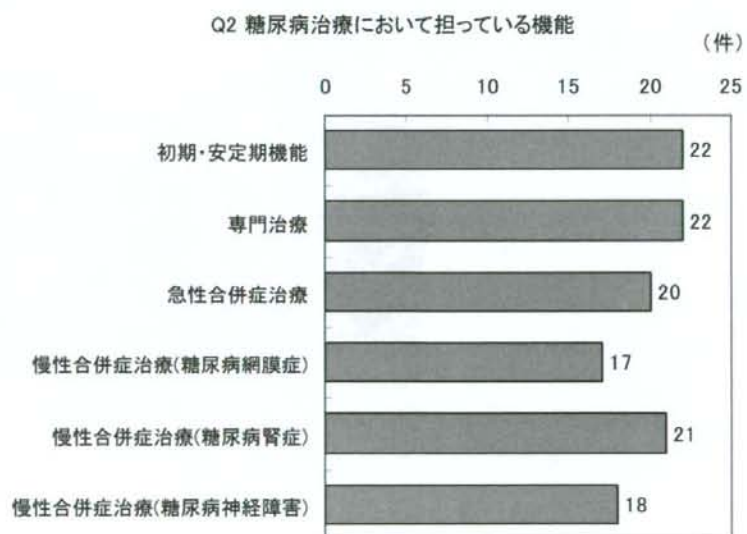


Q1-4 地域の診療所の勉強会への参加有無



Q2 糖尿病治療において担っている機能

貴医療機関は糖尿病の治療において、どの機能を担っていますか。(いくつでも)



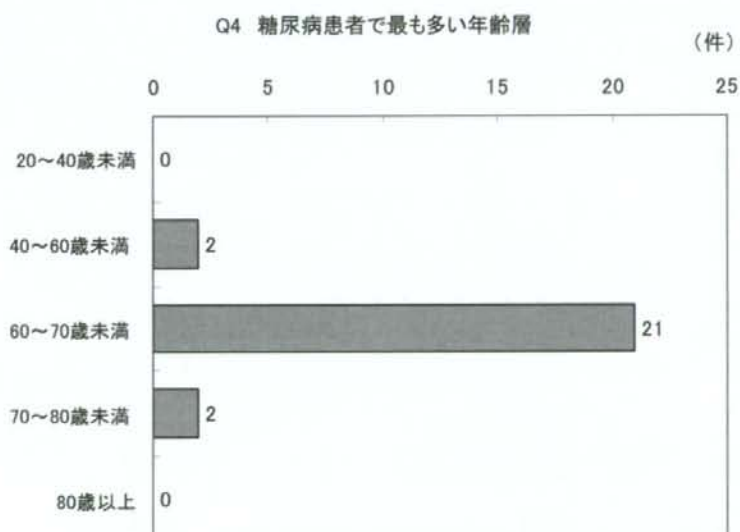
Q3 1ヶ月に診療する糖尿病の患者数（都道府県別）

貴医療機関の1ヶ月に診療する糖尿病の患者数を実人数でお答え下さい。

		Q3-1 患者数：I型 糖尿病(人/月)	Q3-2 患者数：II型 糖尿病(人/月)	Q3-3 患者数：その 他の糖尿病(人/月)
全体	n数	25	25	22
	不明件数	0	0	3
	全体平均	23.5	534.8	19.0
都道府県	青森県	17.7	570.0	26.0
	新潟県	70.0	1366.7	60.0
	和歌山県	40.0	366.7	23.3
	岡山県	10.4	393.1	9.4
	福岡県	15.0	453.7	15.8

Q4 糖尿病患者で最も多い年齢層

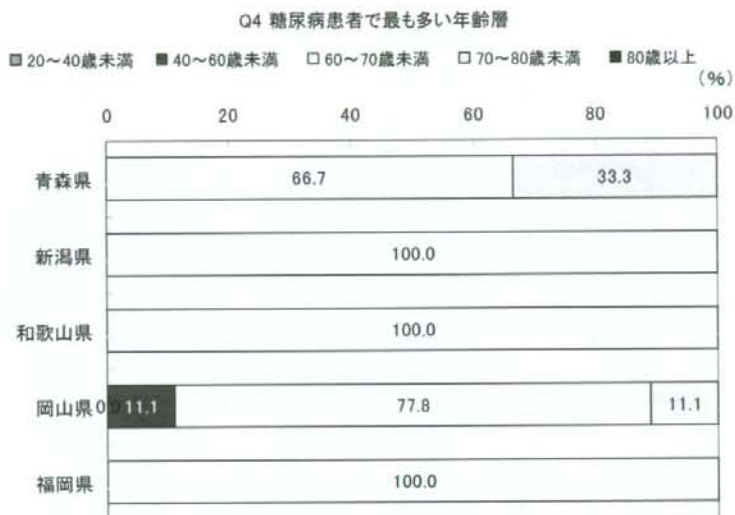
貴医療機関で診療している糖尿病患者で最も多い年齢層を1つ選んで下さい。





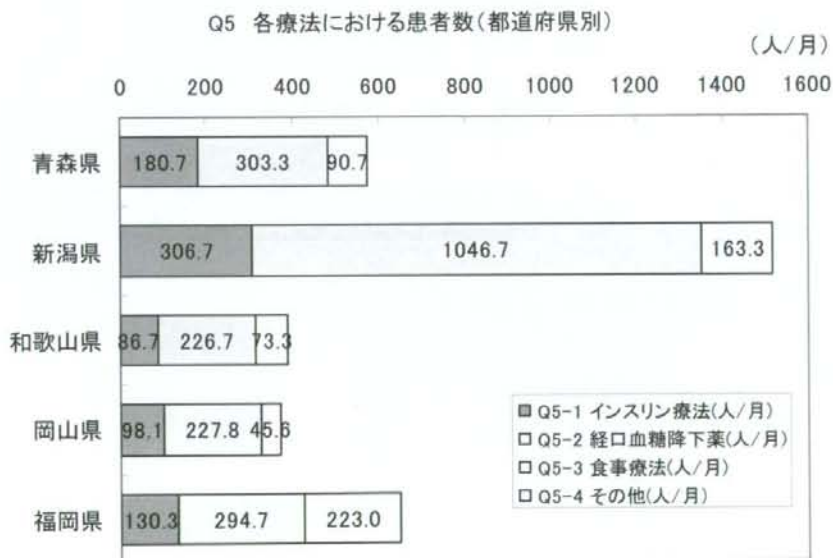
Q4 糖尿病患者で最も多い年齢層（都道府県別）

貴医療機関で診療している糖尿病患者で最も多い年齢層を1つ選んで下さい。



Q5 各治療法における1ヶ月あたりの患者数

下記の治療法を1ヶ月あたり何人の患者に行っていますか。



Q6 インスリン療法の注射方法を行っている患者の数（勉強会への参加状況別）

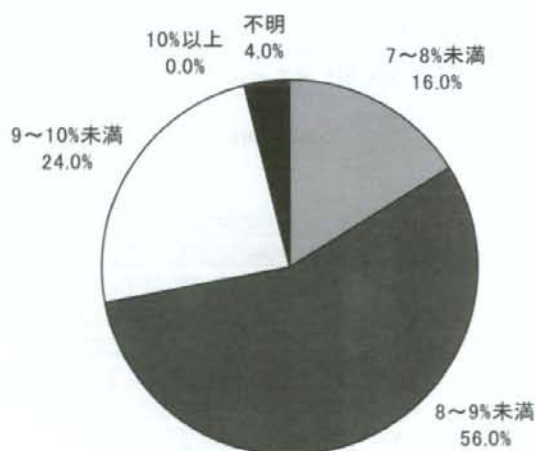
Q5 で「インスリン療法」を1人以上に行っている方にお伺いします。インスリン療法の注射方法を行っている患者の数をお答え下さい。Q5①でお答えになった人数の範囲内でお答え下さい。

		Q6 インスリン療法の注射方法を行っている患者の数(人数/月：平均)			
		1回打ち	2回打ち	3回打ち	4回打ち
全体	n数	24	25	24	24
	非該当	0	0	0	0
	不明件数	1	0	1	1
	全体平均	23.5	50.6	33.0	41.1
Q1-4 勉強会への 参加有無	はい	46.8	104.9	69.3	91.1
	いいえ	10.7	30.3	16.7	23.6

Q7 糖尿病外来の受診あるいは教育入院を勧める場合の血糖コントロールの目安

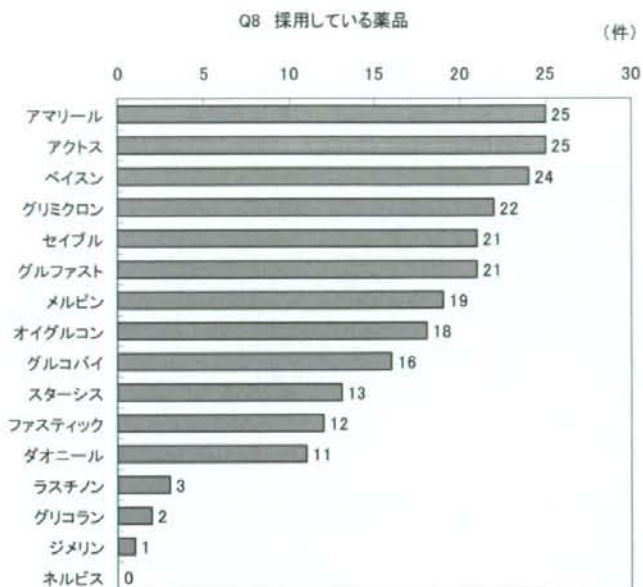
その場合の血糖コントロールの目安（HbA1c：%）はどの程度ですか。（1つだけ）

Q7教育入院を勧める場合の血糖コントロール目安



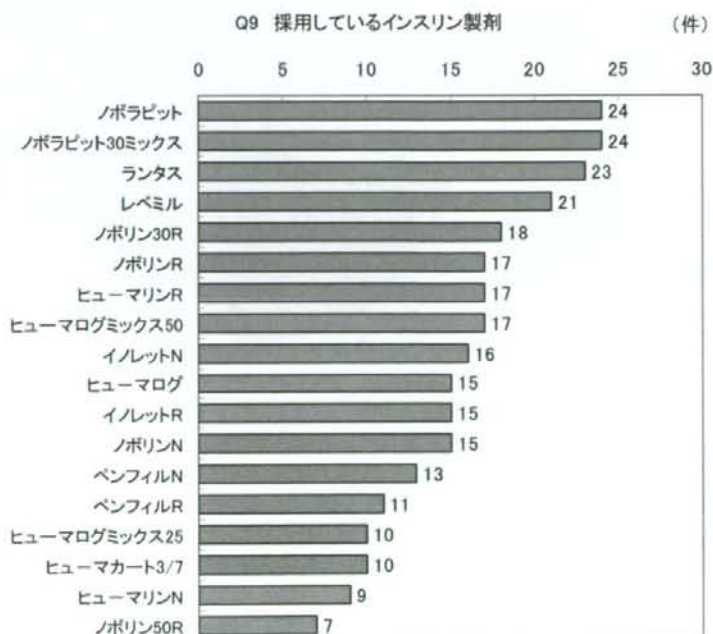
Q8 採用している薬品

貴医療機関で採用している薬品をすべて選んで下さい。



Q9 採用しているインスリン製剤

貴医療機関で採用のインスリン製剤を全て選んで下さい。



Q10-1 来院する年間の糖尿病新患者数（都道府県別）

貴医療機関に来院する年間の糖尿病新患者数をお答え下さい。

		Q10-1 糖尿病新患者数（平均人数）
全体	n 数	25
	不明件数	0
	全体平均	156.1
都道府県別	青森県	136.7
	新潟県	183.3
	和歌山県	133.3
	岡山県	56.8
	福岡県	172.0

Q10-2 Q10-1 の患者における来院経路別の内訳（都道府県別）

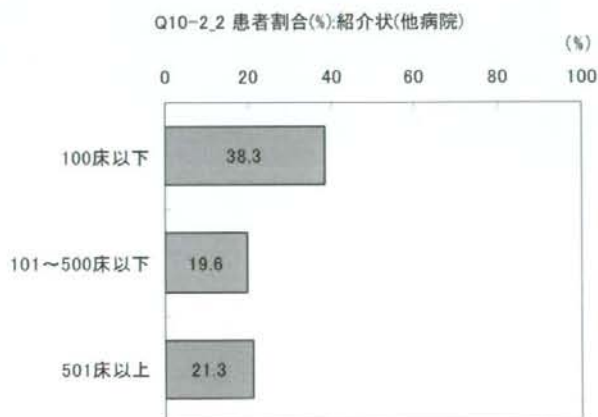
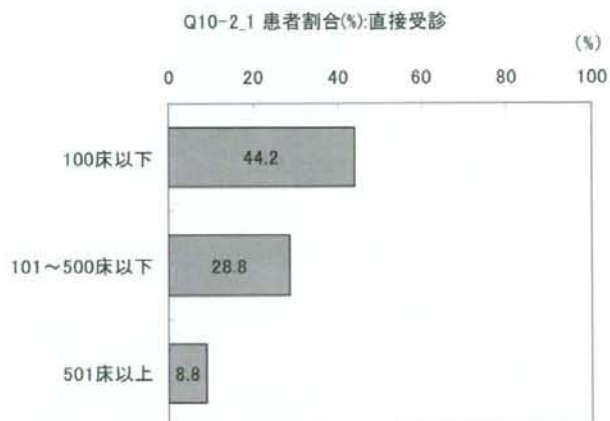
Q10-1 でお答えになった糖尿病新患者数の内訳をお教え下さい。

		Q10-2 Q10-1 の患者における来院経路別の内訳（%：平均）					
		Q10-2_1 直接受診	Q10-2_2 紹介状 (病院)	Q10-2_3 紹介状 (他診療所)	Q10-2_4 紹介状 (健診)	Q10-2_5 救急車	Q10-2_6 その他
全体	n 数	25	24	24	24	15	17
	不明件数	0	1	1	1	10	8
	非該当	0	0	0	0	0	0
	全体平均	28.7	20.2	32.7	20.0	2.9	0.0
都道府県	青森県	20.0	40.0	23.3	26.7	10.0	0.0
	新潟県	11.7	18.3	53.3	14.7	3.0	0.0
	和歌山県	28.3	18.3	36.7	11.0	5.7	0.0
	岡山県	42.0	16.9	25.0	20.0	1.7	0.0
	福岡県	18.4	20.5	37.4	25.3	0.0	0.0

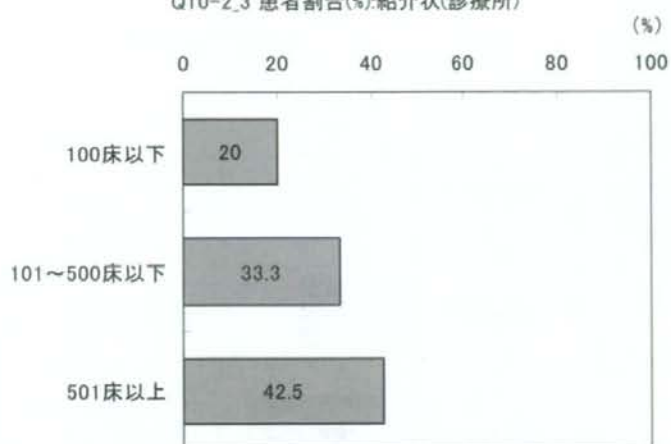
Q10-2. Q10-1 でお答えになった糖尿病新患患者数の内訳をお教え下さい。(規模別)

平均(人)

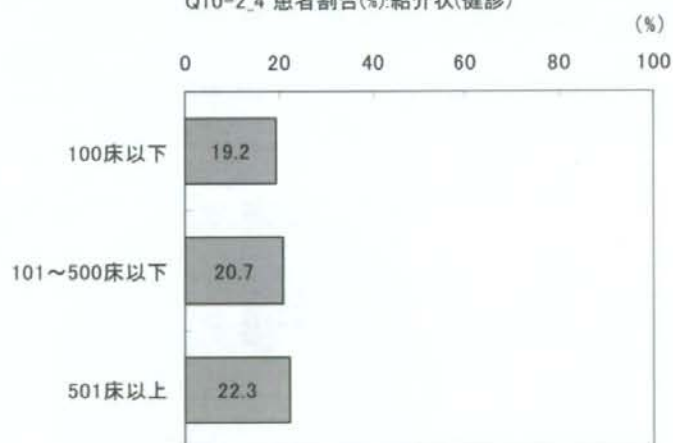
		Q10-2_1 患者割合(%):直接受診	Q10-2_2 患者割合(%):紹介状(他病院)	Q10-2_3 患者割合(%):紹介状(診療所)	Q10-2_4 患者割合(%):紹介状(健診)	Q10-2_5 患者割合(%):救急車	Q10-2_6 患者割合(%):その他
	全体	29.9	23.3	32.7	20.0	2.9	0.0
病床数	100床以下	44.2	38.3	20.0	19.2	0.0	0.0
	101~500床以下	28.8	19.6	33.3	20.7	3.1	0.0
	501床以上	8.8	21.3	42.5	22.3	5.3	0.0

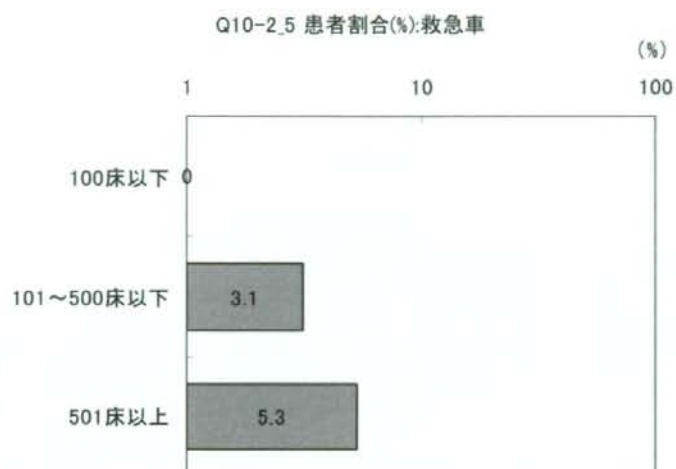


Q10-2\_3 患者割合(%):紹介状(診療所)



Q10-2\_4 患者割合(%):紹介状(健診)

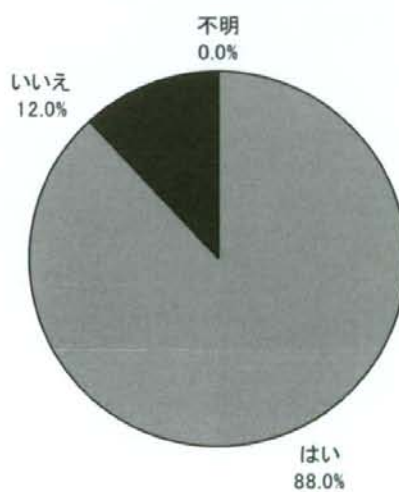




Q11-1 糖尿病患者の逆紹介の実施有無

貴医療機関では、糖尿病患者の他の医療機関への逆紹介を行っていますか？

Q11-1 糖尿病患者の逆紹介の実施有無



Q11-2 糖尿病の年間逆紹介患者数(都道府県別)

Q11-1. で「1. はい」と回答された方は、糖尿病の逆紹介の患者数をお教え下さい。またその内訳もお答え下さい。

(人)

		Q11-2_1 糖尿病の年間逆紹介患者数 (人/年：平均)
全体	n 数	22
	不明件数	0
	非該当	3
	平均(人)	74.5
都道府県別	青森県	105.0
	新潟県	100.0
	和歌山県	100.0
	岡山県	39.8
	福岡県	85.3

		Q11-2_2 年間逆紹介患者内訳 診療所へ(％：平均)	Q11-2_3 年間逆紹介患者内訳 病院へ(％：平均)
全体	n 数	20	20
	不明件数	2	2
	非該当	3	3
	平均(％)	74.8	30.1
都道府県別	青森県	50.0	50.0
	新潟県	90.0	15.0
	和歌山県	75.0	25.0
	岡山県	80.9	28.8
	福岡県	77.8	22.2

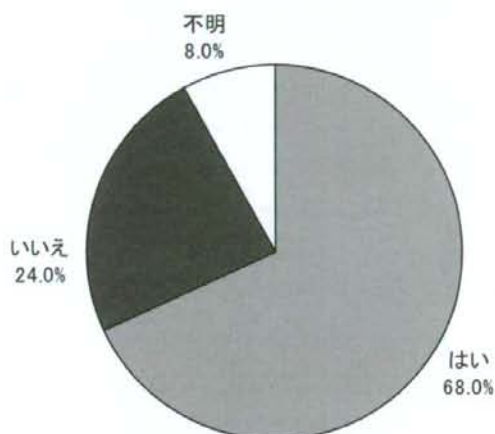


Q11-3「循環型医療連携」の患者の有無

逆紹介患者で、定期的に（たとえば年1回）貴医療機関を受診する、いわゆる「循環型医療連携」の患者はいますか。

(1) 「循環型医療連携」の患者の有無

Q11-3 循環型医療連携の患者有無



(2) 「循環型医療連携」の患者数

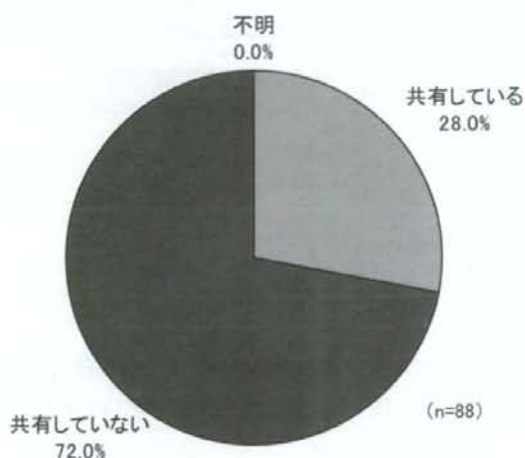
		Q11-3_1 循環型医療連携の患者数 (人/年：平均)
全体	n数	16
	不明件数	1
	非該当	8
	全体平均(人)	38.8
都道府県別	青森県	51.0
	新潟県	20.0
	和歌山県	5.0
	岡山県	61.0
	福岡県	18.0

Q12 他の医療機関との診療情報、治療計画の共有

貴医療機関では、糖尿病治療に関して、他の医療機関と診療情報、治療計画を共有していますか。(1つだけ)

(1) 他の医療機関との診療情報、治療計画の共有

Q12 他の医療機関との診療情報、治療計画の共有

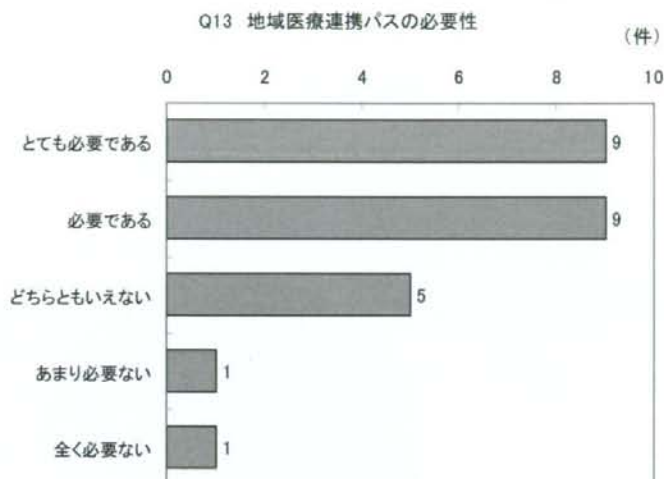


(2) 共有している施設数

		Q12_1 共有している施設数 (平均)
全体	n 数	5
	不明件数	2
	非該当	18
	全体平均	6.6
都道府県別	青森県	2.0
	新潟県	該当なし
	和歌山県	該当なし
	岡山県	4.0
	福岡県	20.0

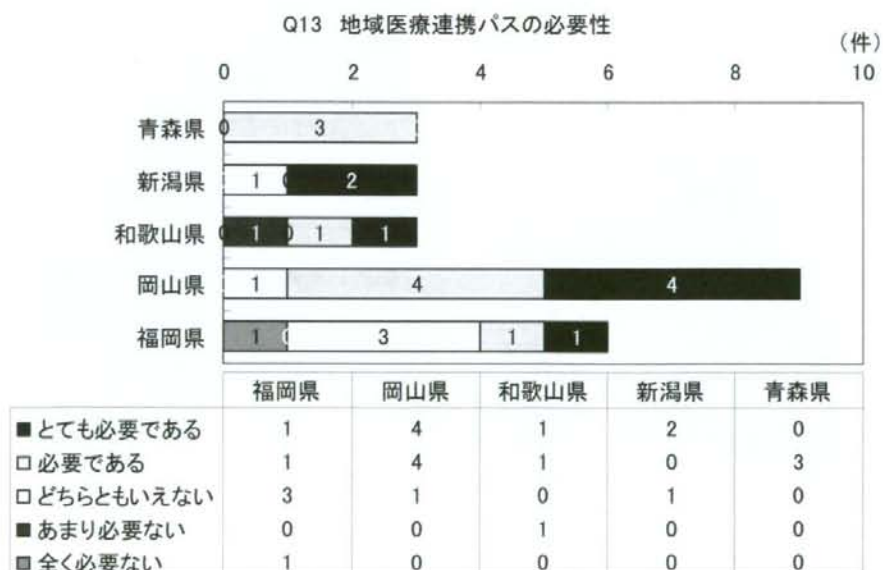
Q13 糖尿病治療における地域医療連携パスの必要性

糖尿病治療において、地域医療連携パスは必要だと思いますか。



Q13 糖尿病治療における地域医療連携パスの必要性 (都道府県別)

糖尿病治療において、地域医療連携パスは必要だと思いますか。



Q14 糖尿病治療において地域連携パスが必要だと思う理由（自由回答）

Q13の回答理由についてご自由にお書き下さい。

糖尿病治療に対する患者・診療所・病院の共通認識。診療所への紹介がスムーズ。合併症を もれなくfollowできる。
何年間もDMコントロールの悪い状況のままfollowされている患者様が多いため、早期に専門 医に受診していただき、安定したら主治医にもどっていただく体制は必要と思います。
①本地域は農山村であり、高齢化も進んでいる。②DM合併症を含めた全ての症例に適切な診療 を提供出来る状況にない（医師の体制も含めて）③医療従事者、住民全体の意識の問題 ④経済状況の問題 ①～④に問題あり。行政も含めて、地域の診療所-病院（岡山郡部く当院 >）-大病院-岡山市内の連携が必要と考えます。
病院への集中化（診療の質の低下）を防ぐため
病状の変化のとき、お互いに連携しあえる
現在準備中
現時点では各機関間の情報提供は不十分であり、また治療レベルが不明である。地域内で勉強 会など行い、つながりを深めていく必要がある。
絶対数が多いことから、他の地域の医師と情報を共有する必要性があるため
スムーズな継続的治療のためのツールとして必要と思う。専門医のところに殺到する事態を避 けられ、質の向上につながる。
医療の均一化
大病院のDM外来がパンクしてしまう
便利だから
地域の事情による
内容、参加施設によってメリット・デメリットあり。きちんとしたシステムでなければ手間が かかるだけだと思う
糖尿病患者数著増しており、専門外来で全ての患者をフォローすることは、不可能。一定の診 療レベルを保ちながら治療を続ける為に連携は不可欠で、その為のルールが必要と感じる。
一つの医療施設で診療する限界を超えているから
患者により病状の幅が広いいため、単なるパスでの連携以上の情報連携が必要
やり方が制限されて、かえって使いにくい
一診療所では、対応しきれないため